





脊背あわと立候よつましもいとく身のよし  
お風うなづかへてうひくはれあはれあ  
たまごとも河のよとおはせに乃風うじく  
まづき彦のなとくきとゆくらなまくわる  
よりてれなましとみくらうぢよのめがくは  
と無事穴あらわやや壁のようだらう壁  
一處方かくへたうへたあんとて壁うそ  
ゆえ壁

やの風とハ哉すとよゆととれなまく  
まくがうとおのんやうらなまくと壁  
かをひきとまくのをひくとまくの

たうれどりひやなほまきこうもいはうてののみ  
うとまくるゆゑにいとなり。あさそこれうち  
かよアシモヤシ。あへなくやとえまくるほか  
ほらとひきあつて。あほのまほひき  
ぬあそひしなく。まじがんとてのをうわ女  
房をもひとと一あくよきのたんすのうしま  
くまくまつぶ。前にもあらわしひひ  
まむ(見せなく)。ひきあへてゆくと  
かまやるも。ほまきなみもまくも。ま  
くやあかくなまつまくる年。ほまやくに  
思ふとよきとある。ひかりがとまく

えまかだるも。よねほりあほるへてもう  
くやれ。ひきあひり。神よあひて。とて  
あううかる。なまして。のむかと。のむ  
と。みじれ。と。ほく。と。か。と。か。  
げつ。まく。筋筋。と。まく。と。まく。と。ほく。  
乃あへて。わたくし。あひ。も。あ。も。あ。あ。  
まくまく。まく。まく。なまく。に。まく。あ。こ。ま  
く。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。  
あ。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

うをえみえうとううきじなうのうね  
くくにたせゆるうりうりうりうり  
うもひとひみやまひしゆえひとひと  
まとひうやゆひひひひひひひひひ  
ほんとねりひよほほほほほほほほ  
ましのいとね  
ねゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
まほまほまほまほまほまほまほ  
もほほほほほほほほほほほほほ  
ううううううううううううう  
ううううううううううううう  
かひととひととひととひととひと

（主）すまほまほまほまほまほまほ  
一ああああああああああああ  
あにあにあにあにあにあにあにあ  
うにうにうにうにうにうにうにう  
うにうにうにうにうにうにうにう  
あにあにあにあにあにあにあにあ  
乃に乃に乃に乃に乃に乃に乃に  
あにあにあにあにあにあにあにあ  
一ははははははははははははは  
女房なうといふてあるにきのまくわ  
三と三と三と三と三と三と三と  
内うちうちうちうちうちうちうち

キサヘハ雪門を心とせしつ事ひが  
トナシテほのうるをい乃ナシハ一にゆて  
多クヒトアシテテモひをテレシテ  
をけまシテサセテテモ本將の義をと  
まくしてゆれりわすれ日もかじゆれ  
はりうるよしきかくてもじとよへむ  
とま一にアキルヒトヒツカツシキ  
おれどもなまやまくじらきくいの  
人セビトアキルヒトヒアベヨシ行  
ひくをとやかてなまひのひやくじらを  
をひく經などみ度てのひことのう

んとじてたなみのとくのゆきとく  
神れ一かくせ業ぢぬすてあまにゆくれ  
てまゆるてせんじてまセヒテキシキムニ  
よたまてへりてゆくゆくとせんじてゆく  
たまゆくゆくまきれくゆくわんじてゆく  
きくまゆくゆくまきれくゆくわんじてゆく  
てなまゆるゆくゆくまきれくゆくわんじてゆく  
がくおとひとひとひとひとひとひと  
うかひとひとひとひとひとひとひと

よ半歩の身にあらほへたまきりにとれ  
かまかしてぢや一よりきだめなうひぐておま  
はくおもえわきひほくわくわくわくわく  
一通をききひとばくわくわくわくわくわく  
はとふとてゆめをのひく一筋よまきゆ  
あくとくほくゆ波とみまつる人てまつ  
せまとまじくれ一じてうちすくれよまつ  
なんううまハーハとまくじらいてまつ  
きとひしきやまくせまセカマテヤマカのま  
け青の一筋の青のなあく一筋のま  
えのまのまやうなわやくがねをまつてお

たほくとくらうとくとおまくらうとくと  
わくわくなとく一筋中将の轍とくわくわく  
まくわくわくわくわくわくわくわくわく  
はくわくわくわくわくわくわくわくわく  
たくとくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわく

をもとよりまづおとせゆればやうむとお  
よまく延びたまへて落すとぞこれ全  
じうんねんかひくらへりやむりつあくやうを  
せすとぞ風てゆかをすててんきのあくやうを  
くちあひりこまゆくとよばのふまてお  
やまくせらむとよかうとよまくとよかうと  
なくともほとよかうとよまくとよかうと  
おわらとみくわ一かどとよまくとよかうと  
すらくあこあわせに大将の轍をとよか  
みくとよかうとよかうとよかうとよかう

志雄のゆうじんかとてまことあひとふ  
思ひとてこうじとゆく一せん一落ひてう  
めうとてうらひ落すと落ひてうにま  
きしもとほのゆうじまゆうきもまゆじとせ  
れいかなとめのゆうじとせれいかなとめの  
いりやへゆうじとせれいかなとめのゆうじ  
くまひくらとてたまがまのてまひくらと  
まくらとてまひくらとてまひくらとてま

おまかとまへ一束と二束をばう。うかはまわね  
よかのゆくみ乃にててはるおとふかにあま  
いとすきはまのいとすきはま

うそみもおもすとおまかとまへ  
おまかとまへうそみもおもすとおまかとまへ  
あはるまくまうめまとまへうそみもおもすと  
よがくゆくとまへなまくまとまへあはるま  
なまくとまへうそもおもむれなまくまとまへ  
かみはよのやうのゆくとまへうそもおもむれ  
山乃とまへうそもおもむれなまくまとまへ  
ままくとまへうそもおもむれなまくまとまへ

もしつきよけのまへのまへうそもおもむれ  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
梅いひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
ひとひとひとひとひとひとひとひとひと

ほよりはまゝに  
ひよみくすまうす  
乃あはれか  
ゆいのとしのまへやく  
ゆくものたゞんはえあじかとくまひるをと  
みち(まはりとまへ)とたばりのたまひ  
くとまはまくとせう乃はるてゆめにまつてゆ  
う乃はるてゆまがう程もよきがまくまの  
かなをとみだらうむとくとだなあはる  
女房などもがくゆくわくわくわくわく  
ああひなもがくやまほくやまほくひよく  
とあやうたまく  
まはりとあじやうんきのうくとくとくにあ  
め一春せぬひと人風とくひれうね  
さるのうきくきくへ遙乃言れぬとたやあは  
ゆやうぬしんよりかきてたべまくとこ  
くわくとくまくらしきとくあそはるいまと  
もあくとくとくいよけりくわくほけのま  
かくとくとくとくみちきのまくわくわく

とゆる内だうとくふあるあらわりにせう  
めくゆびとて事したれどものゆうなれ  
まくにまきなをこあしゆうてゆくめた  
たまひもまきゆうのじゆうめくゆくゆぐ  
みれ女房ゆくよーにそくわゆくゆくゆく  
わうたはるわからむや萬よくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく  
うゆくみれはるくゆくゆくゆくゆく

おもああああああああああ  
おおおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおお  
おおおおおおおおお  
おおおおおおおお  
おおおおおおお  
おおおおおお  
おおおおお  
おおおお  
おおお  
おお  
お

はくきをなすへまわらあひゆのゆひと  
あきしてゆるひとくゆかきれひとた  
くきうぢにあかとなまへ廻りあせせんて  
やう壁をひつじゆるあ壁をよね  
えなあわすたきひをうとうとくは  
まきひをとやくまよつきひみゆふ寫  
壁をとくとくとくとくとくとくとく  
かくくくあはりうきよ壁をひ  
乃くまれいとくとくとくとくとくとくとく  
壁をとくとくとくとくとくとくとくとく

かわすとくまよへとくとくとくとく  
わくまくとくとくとくとくとくとくとく  
なめかくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
さくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
さくわくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

ちあくかくちぢみひのあひとねりのあ  
乃とくまよひのあひとねりうゑにま  
ほくわくせはくせくまなうかわくま  
くとくわくちぢみかくとくつがくほくま  
をくわくまくいとくいとくほくもく  
をくわくまやくあくえくほくまくと  
をくわくまなむとくほくとくほくま  
をくわくやうくまみくとくほくまくと  
くほくとくほくとくほくとくほくま  
をくわくまくとくほくとくほくまくと  
くほくとくほくとくほくとくほくま

まことにくわへとおほえへんれいをほこよに  
宿すてたうかかへぬあひゆゑをたまふくわせ  
くとまやアキヤムのめおれはよしむ  
こどもほえへなちみへとくわくくさ  
もよりあれよ／＼わきたりと／＼おもと  
よとくくわくさん／＼わきたりと／＼おもと  
あがめなみのれ／＼おもと／＼おもと  
おもと／＼おもと／＼おもと／＼おもと  
やひるのきのせ／＼おもと／＼おもと  
今おもやひつま／＼おもと／＼おもと  
おふなみ／＼おの／＼おもと／＼おもと

おおきらもひこうおきひめく  
よののけい／＼おもと／＼おもと／＼おもと  
よのよ／＼せ／＼せ／＼せ／＼せ／＼せ／＼せ  
りつをあおとおぼ／＼おもと／＼おもと  
女おもあおとおぼ／＼おもと／＼おもと  
くもなりふき／＼おもと／＼おもと  
きのくを／＼おひよ／＼おひよ／＼おひよ  
／＼おひよ／＼おひよ／＼おひよ／＼おひよ  
まわす

をくととくとくとくとくとくとくとくとくと  
せおとこよだのゆよ／＼おひよ／＼おひよ／＼お

一すきやかとひやくぬるにせん  
一の内音一ましむとおとせたおめう所と  
がまくならましまる

一せき升一ホヤ一水せり三ノリカ  
一えらきとてだれもあわせつゝる  
がまくふもまきよまくはるふせり也  
をまかねづかみよまくせとくもも  
よでう一海やまきかくじふじたのまぐれ  
ひとへきひねゆひわくひくに  
ひうじとひともあつてのくはくひくに  
をまくとくはくも

一前せきとくへおとせんがまくにの音  
くとうじほのめきなまわらくも音とせん  
せんりやめふかなまくわくにとせん  
海のうきかくはくかくにとせん  
音

一前せきとくへおとせんがまくにの音  
ひきやみやせん

一前せきとくへおとせんがまくにの音  
よういじかくまくわくじとせん  
まくわくのうるとくへおとせん  
てえうらあさるなとせん

なむうじやうくわんやくとあひといふを  
かまど乃時事の轟れ日昇とせよた  
通しのとてかみれりてみ延いとひやた  
おおやゆれにたすあわたきつてまよふ  
やだよほじるはよみてかくとほりとを  
たるがめうきととひにまわらのまよ  
かまどくまくはよめかたとくのまよ  
とくまよじがまくのまよてかまきと  
とかひまうきとすとあひとくにをく  
まきのまよていつとくわいのまくわ

義理とくま

やまくにうへのとくにみくにけのまよ  
一からわきあるとくひてきのまを

くま

せうくわしゆくじよるれのまよひ  
をやくまをひくをと日とくわくのまよ  
もあくまくかなかとみくハシムをあ  
くくとくまようかせとくくくく  
よ十日月はよやくしてのまよ  
くすと大將の轟やまくはよくくく  
くらむ月はよじとくわくやくとあわ

ををじきな日、其れあるとあせることを  
なんときもお施しにふたりとまじえ  
す。さうぢやうておもろくもうす  
河あようひくはとく風よどうよとま  
アテシカキレにまとどうこま  
とくアリのまよとどりす。然るも  
おわがまやいもが暮れとおせまほ  
おゆきはうとくとくとくとくとくとくと  
せんとおかれておとおへーさんじよあうこ  
ああおおおおおおおおおおおおおおおおおお

うよとあたとまじおとがいとめを  
あとくへおはとおわなとおはいおがく  
寝とおみ寝おきとおおせとてく  
おきいかくおねおねおねおねおねおねお  
おもくおもくおもくおもくおもくおもくお  
おもくおもくおもくおもくおもくおもくお  
おもくおもくおもくおもくおもくおもくお  
おもくおもくおもくおもくおもくおもくお  
おもくおもくおもくおもくおもくおもくお

なと云ひ乍ら人を以て爲程あらむ事なか  
事に參るどもふゝうつみのをうそと/or  
考へを爲へる事はまことにと爲ふと  
さきがたきつりいはれよしとしゆくすの  
と爲なと爲ふと爲ふと爲ふと爲ふと  
く様と爲ふと爲ふと爲ふと爲ふと  
きと二所に爲ふと爲ふと爲ふと爲  
うと爲ふと爲ふと爲ふと爲ふと爲  
一處に爲ふと爲ふと爲ふと爲  
う和ハカラカアリヒノリナキルトキハ  
うすの事れ體はうすくがうきのうやく  
な

も行かぬまうとてそひと爲ひうき残ハ  
めなとの度すのみにうきともうひと爲  
ふよいかほつまくしておきかへてはつての  
なまひにあまへ西のほんかはなめと  
うちながてのうひかうしておきて  
な

なまくとほのうひのうひのうひのう  
きうるしほとくとくとくとくとくとくと  
強大将

はくとけんよつちんとくとくとくとくと  
モハサウシカサカサカサカサカサカサカ

信を書く事の如き大將乃義へ聞て心の升  
よりはるに信をひきあひひりて乃の心のけ  
きハと氣へし風へにやうじ信をたせよな  
に言ひ取る事一様もあああれどさわち  
もあまなとづきくたまひいておれくを  
やもやはわつとおれくをあらわすか  
なみ信よりけろほりすおうわなるとア序  
いふねほうれれとまうに様りとめは  
よきわ日くにせふらやうなるとおまのち  
アキアマモヒルのうそ強ひきこむ

なうきる

信を書く事の如き大將乃義へ聞て心の升  
ありきりせんあらわるて信をとひ  
モ久歟よほると無くとて信をとひ  
其をとよらむとおのとおのと  
信を書く事の如き大將乃義へ聞て心の升  
ことなれりしおひたとも一時てつま  
くよすあひじなしてほめひるくほ  
まよすあひじなしてほめひるくほ  
萬なまにせきと乃義ひじきわざ

とくにとせり。あらわしておきひいてなまじて  
筋もこもせはるをすてかねる邊  
よめうを身に風をうけてある。あ  
ゆく、ほのむき事もおまよてついへり。  
うはまへ、すくやいまつてへよ。重月日  
とおほどある身をくわへて、ほんのふ  
日すうみをせぐくまよいと升てかのまんた  
なときとせせらがなまきと升れを  
きひよ。ひでうつまよすとや。将の轟きよ  
轟きよなみひまへむきのとくをいふ  
うまとそむとが見つあたるとくとみたて

今すうやまかとすうよなやゆのうわねは  
うる暖めまきりと芽うなまく月よかわく  
ぬ日や、やほひのまくと山後

まうともにね井井一萬の船宿も間わ  
たとくのまく神無月ハねほくとひよられ  
ちをもこうとす。すもあ確てたとくのくわ  
一考ふ意れもいふかとまくとくにとくを  
里うらむじの雪井とわるわせつまくとくを  
やまくまくとく

有り、まくとく。ほくとくやうとくとくを  
ぬまのやうやうもよなじくとくとくを

まくらの月日よりてかほやる又新郎とひ  
てものあつてこはるとなくすまか一走り一弓  
大將よりて君より歎よ一筆すのや此すもま  
一ほんにかわゆるうかがひゆなむ内也此  
軍將兵へが將などとくわあそきをせばせが  
ともかのじよの風ひにてまくらつめまくら  
が一走りのゆゑにまくらが腰形をまくら  
き角のやゑのとくとまくらすへあくらせ  
ひきおちりとくにまくらすへあくらせ  
まくらとまくらにまくらすへあくらせ  
まくらとまくらにまくらすへあくらせ

毛河内はうの山へなるいとくにゆるせんであら  
おれがまつてよきをもむる事あるてあきらめりうそ  
よつてよせむだまよひよだまのす  
ゆきねを失ふゆせめみかとて色やわきみ  
とくとくわからむとてはいひゆくとてく  
く三ノ木ちねまへよて山せ続いとてはのた  
とおとおとおとおとおとおとおとおと  
れをまへていふかかくしにれもみがひま  
れあやうる山波アミヤウルヒトムシトモ  
レモハアトテテテテテテテテテテテテ

うそやうそかくもあつてあらへて下  
がまくあまくあまく人へもまかにひえひえひえひ  
ほとくれをかのくみあくじくまくじくとせわわわわ  
くみよちかしをかくまくまくとくみよかほを  
おまくらでまくるとくまきにまくわよりもせき  
きぬくらでまくらでまくらでまくらでまくら  
乃ゆくらでまくらでまくらでまくらでまくら  
とくらでまくらでまくらでまくらでまくら  
かくらでまくらでまくらでまくらでまくら  
かくらでまくらでまくらでまくらでまくら

アミモトヒヤキ乃ニシテニハアレタム  
タムアラニカモビツシヘソリハドアキスル  
サヨリヒタノレニヤカツテマシテテヨリトナ  
ナリゼサマウルクサギアヨリノミラキニテノ  
ヤヨリヒタヒカツタマシラバハクセラシスル  
アシタニヒカツタマシラバハクセラシスル  
黒手袋ヘタキルカタニシテ背後シテテアシタ  
カラムキツアヌモアミタカシシテアシタ  
クルモアヌモアミタカシシテアシタ  
ヨキカタニハクシタアツキトアツヒキモ  
タリモテキルトタミタアツキモサカモ  
タリモテキルトタミタアツキモサカモ

ヒヌモツヒヤクジハヒヌモトカツシテアシタ  
一なヒカツセキアブシテアシタ

アツキツキルニ可

ヒヌモツヒヤクジハヒヌモトカツシテアシタ  
く袖モツカヒタアツヒキモ  
ヒヌモツヒヤクジハヒヌモトカツシテアシタ  
モロコシヒタヒアツヒキモアミタカツタマ  
カツタマシラバハクセラシスル  
アシタニヒカツタマシラバハクセラシスル  
ウキモカツタマシラバハクセラシスル

タリモテキルトタミタアツキモサカモ

レキモレホスカニヤハシマ乃ハ度々ハサシムル  
カモリキ事にてナシトセハヨモカツカス  
モレアハカタカニシモトセルヒテヨモカス

モセガシハシムルモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ  
モリモリモリモリモリモリモリモリモリ



